



「礼」

今

回は「礼」について学んで
いきましょう。

「礼」は「礼儀・礼節」などの言葉に用いられるように、人間関係を円滑に維持するため守るべき社会生活上の規範、人として守るべき作法などの意味があります。

また、「礼」の旧字である「禮」は、神様やご先祖さまに収穫した作物を器に載せ、豊作を報告し、感謝を捧げるさまを表しています。

金剛さまは「礼とは感恩の意思表示である」と説かれています。つまり、「有り難い」と感じた時、感謝の気持ちを表現することが「礼」です。

たとえば、人に助けてもらったりした時、「有り難かったなあ」と心の中でどれだけ思っていても、相手には伝わりません。「この間はお世話になりました」と御礼の言葉を伝えたり、品物を贈つたりなど、感謝の気持ちをきちんと形で表す

ことが大切です。

また、金剛さまは「礼とは敬意（うやまつきもち）の表示」と葉に用いられるように、人間関係を円滑に維持するため守るべき作法などの意味があります。

また、「礼」の旧字である「禮」は、神様やご先祖さまに収穫した作物を器に載せ、豊作を報告し、感謝を捧げるさまを表しています。

金剛さまは「礼とは感恩の意思表示である」と説かれています。つまり、「有り難い」と感じた時、感謝の気持ちを表現することが「礼」です。

たとえば、人に助けてもらったりした時、「有り難かったなあ」と心の中でどれだけ思っていても、相手には伝わりません。「この間はお世話になりました」と御礼の言葉を伝えたり、品物を贈つたりなど、感謝の気持ちをきちんと形で表す

解説会での奉仕は、自らの体を使い、神仏や金剛さまに対する

報恩の実践行の一つであり、「礼」の表現です。

ではなく、「させていただく」という謙虚な姿勢です。たとえば、奉仕の際、「金剛さまのもとで精一杯お使いいただきます」という

気持ちで、元気に奉仕させていた

だくことが、自分の心を磨き光らせる「礼」の実践です。

これまで学んできた、「忠・孝・仁・義」の四つの徳目を実践する

上で、「礼」は欠かせないものです。相手に対する「敬いの心」を

持つて、具体的に実行する「礼」があつてこそ、本当の価値が生まれるのです。

◎日常生活の中での具体的な「礼」の実践について、みんなで話し合ってみましょう。